

令和6年度 第3回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和7年2月12日（水）14:00～15:18

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏 名	役 職 等	備 考
増田 学	吉田町商工会長	
村松 直樹	ハイナン農業協同組合代表理事専務	
園田 信晴	南駿河湾漁業協同組合吉田支所長	代理出席
武田 高明	静岡うなぎ漁業協同組合専務理事	代理出席
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
黒田 康弘	住吉区自治会長	
松浦 祐之	川尻区自治会長	
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
加藤 昭	(株)静岡銀行吉田支店長	
横田 渉	島田掛川信用金庫吉田支店長	
飯田 千恵子	(株)FM 島田放送番組審議会委員	
鈴木 佐知子	特別養護老人ホーム片岡杉の子園施設長	
澤野 康之	島田公共職業安定所長	
吉良 光陽	静岡県中部地域局長	オブザーバー

（敬称略）

※ 中村成宏委員、大石千恵子委員、桐田不二雄委員、白石寿一委員、岩根政次委員、松浦セツ子委員、小川政徳委員が欠席。

4. 町長あいさつ

- ・日本創生会議の人口減少問題を受けて地方創生が始まった。地方創生が始まって、必ずしも成功しているのかと言えば、そうでない部分もある。しっかりと効果検証を行うことが重要である。
- ・当町の第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、津波防災まちづくりがカギとなってくる。住吉の防潮堤事業が今年から本格的に動き出す。安政東海地震が発生してから170年が経過し、い

つ南海トラフ巨大地震が発生してもおかしくない状況である。

- ・町土を守っていくために様々な対策を講じていく必要があり、この第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略でも施策や目標を掲げているため、委員の皆様からの御意見をいただきたい。

5. 会長あいさつ

- ・前回の第2回審議会から少し時間が経過している。本日は、次期総合戦略についての審議になる。
- ・先程、町長から総合戦略についてのお話がありましたが、吉田町が住みやすく、生き生きとした町になるように必要な計画であるため、委員の皆様からの御意見をいただきたい。

6. 議事

6.1. 次期吉田町総合戦略（案）及び総合戦略策定スケジュール（案）について

事務局より、「資料No.1 次期吉田町総合戦略名称について」、「資料No.2 第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」及び「参考資料 総合戦略策定スケジュール（案）」について説明をした。

● 【田中会長】

- ・今後のスケジュール案について、補足の説明をさせていただく。参考資料をご覧ください。本日が第3回の審議会になる。事務局から説明があったように、2月21日からパブリックコメントを開始するため、本日の次期総合戦略案は、ほぼ完成版に近い形となっている。第4回の3月18日は、パブリックコメント結果の報告と次期総合戦略の諮問となっている。パブリックコメント結果の報告は、どのような意見があってどのような対応をするのかというものになり、内容が多くなるとは思っていない。次期総合戦略の諮問は、形式上のものであり、町長から当審議会に対して意見を求めるものである。諮問を受けて、第5回の3月24日に答申として、当審議会の審議結果を町長に報告する。当初、事務局としては、諮問と答申を別々の日で予定していたが、それほど多く議論する可能性はないと判断したため、諮問と答申を同日に行うように提案させていただいた。もちろんパブリックコメントで多くの意見をいただいたり、委員の皆様からの意見によって多くの修正が必要な場合は、2回開催することも検討しないといけない。その内容について、委員の皆様からの御意見を伺いたい。

● 【〇〇委員】

- ・次期総合戦略の名称についてですが、中身を見るとデジタルに関する内容が多く記載されているので、名称にデジタルという文言を入れた方がいいのではないか。その方が、町民の方にも意識してもらえるのではないか。

→ 【田中会長】

- ・もう少しデジタルを出したような名称の方がいいということか。

→ 【〇〇委員】

- ・デジタルについては、今後、進めないといけない内容なので、名称に残した方がいいと思う。

→ 【田中会長】

- ・私も同様の意見を持っている。

→【事務局】

- ・従来なかったデジタルの視点を、今回の総合戦略で取り入れていきたい。国の動きに注視して、中身を考えているところです。当初の方向性としましては、国の総合戦略に合わせた形を検討しており、名称もデジタルという文言を検討していた。今後の国の動き次第では、策定後すぐに改訂が必要になる可能性もある。基本目標の体系としては、現行の第2期の5本の柱を基本としていきたいと考えているため、デジタルという文言を入れるのではなく、第3期としていきたい。
- ・次期総合戦略については、取組内容としてデジタルの力を活用したいと考えているが、本格的にデジタルを活用した取組内容が薄いことから、基本的にはデジタルを活用しながら第2期を踏襲したいと考えているので、第3期とさせていただきたい。

→【〇〇委員】

- ・次期総合戦略は時代が変わるようなイメージがあるので、町としての意気込みを示してほしい。今の説明では意気込みに欠けるように感じる。デジタルについては、今後、避けられない分野だと思うので、名称に文言を入れた方がいいと思う。

→【田中会長】

- ・今回の第3期は、第1期、第2期と違って、地方レベルのデジタル化が進んできている。今回の案には、AIや生成AIという文言が一言も入っていないが、それでいいのか。例えば、民間事業者が生成AIを活用してサービスを展開する時に、町に何ができるか。また、町が生成AIを活用して町民のサービス向上に何かできないのか。そういうことを考えていないのか。本来なら、そういった取組内容を盛り込み、文言を入れていくべきだと思う。

→【事務局】

- ・デジタルの取組内容として主に記載している内容について、14ページの教育関係では、ICT環境の整備としてデジタルの力を取り入れており、学校においては、当町が進めているTCPトリビンスプランにより1人1台パソコンの整備を行い、デジタルによる環境整備を図っている。また、15ページでは、主な取組に記載しているAIオンデマンド交通本格運行の検討として、令和5年10月から誰でも気軽に出かけられる町を目指して「ぎゅっとカーよしだ」という名称で、乗合送迎タクシーのサービスを進めている。16ページでは、デジタルを活用した住民サービスの向上として、町の取組だけでなく、国が進めているマイナンバーカードの普及促進をはじめ、キャッシュレス決済の拡充や窓口におけるセルフレジの導入を位置づけている。
- ・名称の案といたしまして、吉田町まち・ひと・しごと創生デジタル総合戦略として、町としてデジタルの観点を進めていくという内容でいかがでしょうか。

→【〇〇委員】

- ・時代の流れとしてデジタルの内容を盛り込むことは当然だと思う。人それぞれ受け止め方があるため、必要であれば名称に入れた方がいいと思う。
- ・本町の目指す姿として、シーガーデンシティ構想を掲げており、現在、商工会にもお声掛けをいただき進めているので、官民連携といった文言を入れてほしい。

→【事務局】

- ・官民連携ということで、シーガーデンシティ構想の賑わいの部分で進めているので、関係人口・交流人口の拡大の部分に文言を追加できるように検討したい。

→【〇〇委員】

- ・よろしくお願いします。

● 【田中会長】

- ・先ほどのデジタルの件で、具体的な取組内容については理解した。個人的には、策定の趣旨を説明しているところで、デジタルの力を活用するといった内容を具体的に示した方がいいと思う。まだ、デジタルの基盤が準備中ということなら、計画期間中に進めていくという内容を示してもいいと思う。

→【事務局】

- ・デジタルという観点の中で、皆さんがデジタルとはどういうものかと想像できるような内容に修正していきたいと考えている。名称の件については、第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のままとするか確認したい。

→【田中会長】

- ・名称については、事務局案のとおりでよろしいか。

→【出席委員】

- ・了承。

● 【田中会長】

- ・11ページの基本目標3の観光交流客数の数値目標について、観光交流客数を増やしていくための取組が、主な取組からは見当たらない。基本的にシーガーデンシティ構想に依存するという理解でよいのか。

→【事務局】

- ・観光交流客数を増加させる具体的な取組については、1点目は移住・定住の促進、2点目は関係人口・交流人口の拡大、この中の具体的な施策として取り組んでいる。主な取組としては、関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進において、大規模イベントへの支援を行っている。

→【田中会長】

- ・関係人口・交流人口の拡大については、どのように把握するのか。

→【事務局】

- ・関係人口・交流人口の概念としては幅広いものとなっているが、その視点の1つとして、ふるさと納税に対する寄付額や寄付者の増加やSNSの登録者数などで、把握したいと考えている。

→【田中会長】

- ・そのような考えであれば、寄付額だけでなく寄付者の数も数値として持っていた方がいい。

● 【〇〇委員】

- ・14ページの次代を担う人材の育成の全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数の割合について、基準値の令和5年度は小中学校ともに0%となっているが、科目数はいくつあるのか。

→【事務局】

- ・全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しており、教科の調査としては、それぞれ2科目ずつだったと思う。

→【田中会長】

- ・ 静岡県の教育にも同じような指標がある。

→【吉良オブザーバー】

- ・ 静岡県は全国の平均点を超えており、吉田町の指標は静岡県の指標よりハードルを上げていると思う。

● 【〇〇委員】

- ・ 13ページの基本目標4の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるについて、主な取組の中に結婚希望の実現とあるが、KPIには子供ができた後の内容に感じる。結婚希望の実現には、具体的にどういった内容に取り組むのか。

→【事務局】

- ・ 13ページの結婚希望の実現の主な取組については、再掲として記載している。11ページの基本目標3の本町への新しいひとの流れをつくるにおいて、新婚生活応援補助金交付件数をKPIとして設定し、具体的に取り組んでいく。

→【〇〇委員】

- ・ 新婚生活応援補助金は、結婚して定住する場合の支援としては認識している。そもそも結婚するという具体的な取組内容はないのか。

→【事務局】

- ・ 婚活支援においては、静岡県の事業を活用しながら増やしていきたいと考えており、主な取組として、公営婚活事業の連携推進を記載している。

● 【〇〇委員】

- ・ 7ページの基本目標1の「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成するについて、社会問題となっている上下水道の耐震化についてもKPIや主な取組に記載した方がいいのではないか。

→【事務局】

- ・ 主な取組の中に上下水道施設の耐震化と記載していることから、町としても積極的に取り組んでいきたい。

→【田中会長】

- ・ 耐震化だけでなく、先日の事故を踏まえて、少し文言を修正してほしい。

→【事務局】

- ・ 耐震化に付け加えて、定期的な点検という視点の文言を追記したいと考えている。

● 【田中会長】

- ・ 1ページから4ページまでは、総合戦略を策定する経緯等が示されているが、吉田町の現状等があまり記載されていない。第1期から10年経過するが、過去の実績がどういう結果に繋がっているかが記載されていない。これまで取り組んできた結果、こういう成果が出ていて、一方で結果が出ていない取組もある。よって第3期が必要で、具体的にどういうことに取り組むかを記載してほしい。今後、第4期、第5期と続いていくかもしれないが、毎回、前の期の内容を見て、総括的な内

容を記載した方がいいと思う。

● 【事務局】

- ・今後のスケジュールについては、先ほどの事務局案で問題ないか。

→ 【田中会長】

- ・3月18日の第3回は開催しない方向で問題ないですか。

→ 【出席委員】

- ・了承。

→ 【事務局】

- ・配付したスケジュール案を回収し、新しいスケジュール案を配付させていただく。
- ・次回の本審議会については、3月24日（月）の14時から吉田町役場町民ホールで開催させていただく。
- ・今回修正した内容については、後日、郵送させていただく。

以上